

◆◆◆ 2010年世界万国博覧会のWMOパビリオン建設着工

2010年の世界万国博覧会（World Expo 2010）が、平成22年5月1日から10月31日にかけての6ヶ月間にわたり上海（中国）を会場に開催されます。この上海万博には、過去157年の世界万国博覧会史上（*）初めての気象をテーマとする展示館（WMO パビリオン）が設けられます。

3月のはじめに、会場敷地内においてこの展示館（床面積：2,000 m²）の起工式が行われました。気象展示館は、WMO（国連の専門機関の一つである世界気象機関（事務局（ジュネーブ（スイス）））が出展するもので、館内にはハイテクを用いた気象ステーションが常設され、開催期中を通じて1～3時間毎に、特に梅雨期や台風シーズンには30分間毎に、最新の気象情報（警報等）が展示館入口に設けられる大型スクリーンに表示されるとともに、来訪者の携帯電にも提供されます。この展示館の外形は雲をイメージしたもので、昼間には建物の外側から上空に向けて霧状の水（ミスト）が噴出され、晴れた日には来館者は、これによって発生する人工の虹の下を通過して入館することになります。また、館内では、気候変動を再現したデモが、展示の一つとして行われる予定になっています。博覧会当局では、梅雨、盛暑や台風をはじめとする変化に富む会期中の天候への博覧会の備えは万全であるとする一方、気象展示館へは毎日4万人の来場を見込んでいます。

* 第1回の世界万国博覧会は、1851年にロンドン（英国）で開催された第1回ロンドン万国博覧会です。日本の初参加は、1867年（慶応3年）にパリで開催された第2回パリ万国博覧会でした。

（上海万博広報資料他より）